

樹木の緊急伐採について

区立小中学校及び区立幼稚園の樹木については、施設管理者による日常的な確認とともに、隔年での剪定及び随時実施する緊急伐採により、維持管理を行っている。

また、令和6年度及び7年度には、樹木医による点検・診断を実施し、樹木の健全度の把握を進めてきた。

一方、近年、全国的に倒木事例が相次ぐなか、中野区においても、令和8年4月に緑野中学校校庭沿いのサクラが倒木する事案が発生した。

こうした状況を踏まえ、倒木の未然防止及び児童生徒等の施設利用者の安全確保を図るため、区立小中学校(跡施設含む)及び区立幼稚園において、樹木の緊急伐採を行う。

1 緊急伐採の対象樹木

令和7年度の樹木診断により、「不健全(枯損・倒伏等の可能性あり)」と診断され、現存する樹木(83本)

対象施設	樹木の総本数	うち、緊急伐採本数 (割合)	主な樹種
小学校(12校)	1,389本	42本(3.0%)	サクラ、ウメ、サワラ、スダジイ、トウネズミモチ、ゲッケイジュ
中学校(7校)	859本	27本(3.1%)	
跡施設(3施設)	461本	12本(2.6%)	
幼稚園(1園)	76本	2本(2.6%)	
計(23施設)	2,785本	83本(2.9%)	

2 緊急伐採の時期(予定)

令和8年6月から8月末までの間に、順次伐採を行う。

3 今後の安全管理

施設管理者による日常的な確認を継続して行うとともに、診断結果として「不健全」の判定ではないものの、腐朽等の進行に留意が必要な樹木については経過観察を行い、状況に応じて伐採や植替え等を行っていく。

4 参考(令和7年度の樹木診断判定結果)

健全度判定	本数
A(健全か、健全に近い)	3,305 本
B1(注意すべき被害が見られる)	182 本
B2(著しい被害が見られる)	132 本
C(不健全)	113 本
計(31 施設)	3,732 本

※ 判定結果は、東京都建設局「街路樹診断等マニュアル」に準拠

※ 不健全判定樹木のうち、30本については伐採済み(残83本)